

(2) 県立美術館

① 運営方針

優れた美術品を鑑賞する機会と創作・発表及び学習の場の提供など美術の振興を図り、心豊かな県民生活の創造に寄与するため、各種事業を積極的に推進し、県民に親しまれ開かれた美術館を目指す。

ア 展示事業

国内外の高水準の芸術作品を鑑賞する機会としての特別展の開催や調査・研究成果を基本に優れた収蔵作品を年間を通じて紹介するコレクション展、そして県美術展の開催等により県民に優れた作品の鑑賞機会や発表の場を計画的に提供し、本県美術の中核施設としての役割を果たしていく。

イ 教育普及事業

県民一般や子ども達の美術に対する興味・関心を高め、技術の向上や創作意欲を喚起するために講座やワークショップを実施したり、地理的条件等により美術館を訪れる機会の少ない人達のために移動ハイビジョン等を実施したりすることにより、本県美術水準の向上に努め、教育機関としての役割を果たしていく。

ウ 資料整備事業

体系的、計画的な資料の収集を図る。

エ 管理・運営事業

財政が厳しい中、経費削減に努めるとともに、各事業の効率的な運営管理を進めながら、実行委員会方式による特別展の無休化、サポーターとの協働及びコレクション展の無料化等により、一層の県民サービスの向上を図る。

② 具体的な事業

ア 展示事業

名 称	内 容
コレクション展	美術館所蔵作品の展示を年間4期に分け、それぞれ展示テーマに沿った展覧会を開催
	第1期 平成21年4月11日(土)～7月12日(日) ①「春の彩り・新収蔵作品」展 ②「動物のささやき」&「静かなる物」 ③「アーカイブに見る瑛九」 ④「イタリア彫刻1」
	第2期 平成21年7月18日(土)～9月6日(日) 子どものための美術展 2009「たんけんミュージアム『アートピクニック』」 コレクション展示室1～4を使って絵画、彫刻、版画などを分かりやすく、鑑賞者が楽しめる工夫をして展示する。
	第3期 平成21年9月12日(土)～12月23日(水) ①「わたしたちの考えた展覧会」 ②「館蔵名品と館蔵版画展」 ③「瑛九と塩月桃甫・海老原喜之助」 ④「イタリア彫刻2」
	第4期 平成22年1月5日(火)～4月11日(日) ①「館蔵名品展・表現の魅力」 ②「都城の画家たち」 ③「永遠の瑛九」

名 称	内 容
特 別 展	<p>県民の期待の高い作品展を中心として、国内外の高水準の作品や将来性のある作家の作品展示することにより、県民に優れた作品の鑑賞機会を計画的に提供する。</p> <p>① 岩合光昭写真展 地球のたからもの 会 期 平成21年5月2日(土)～5月31日(日)</p> <p>② 子どもたちに残したい名画 石橋美術館展 会 期 平成21年7月18日(土)～8月30日(日)</p> <p>③ 中右コレクション 四大浮世絵師展 ～写楽・歌麿・北斎・広重～ 会 期 平成21年11月7日(土)～12月13日(日)</p>
宮 崎 県 美 術 展	<p>広く県民に作品発表の場と鑑賞の機会を提供し、本県美術の振興を図ることを目的として、作品公募により開催する。</p> <p>○ 第36回宮崎県美術展 平成22年2月27日(土)～3月14日(日)</p>

イ 教育普及事業

名 称	内 容
実 技 講 座	<p>実技の普及に関する講座</p> <p>・ 日本画、錫(すず)の器 年2講座</p>
講 演 会	<p>様々な分野で活動中の作家を招いて、講演会等を開催</p> <p>年1講座</p>
子ども美術教室	<p>自由参加型、参加募集型の子ども美術教室 年5教室開催</p>
ワークショップ	<p>従来の表現形式や技法にとらわれない表現活動を通して、表現することについて考える場としての体験美術教室 年2教室開催</p>
ア ー ト ゼ ミ	<p>実技や作品鑑賞について館職員がアドバイスするゼミを開催</p> <p>年7ゼミ開催</p>
ハイビジョンギャラリー・ハイビジョンブース	<p>ハイビジョンシステム導入による静止画番組の鑑賞や所蔵作品を検索しながら鑑賞・学習できる画像データベースなどの整備、収蔵作品や普及事業を紹介する館オリジナル番組の制作等</p>

ウ 資料整備事業

名 称	内 容
図書資料等整備	<p>展示美術作品の参考資料や書籍購入</p>
収 蔵 品 修 復 等	<p>収蔵作品の修復や額装等</p>

エ 管理・運営事業

名 称	内 容
休館日開館	<p>実行委員会方式による特別展示期間中の月曜日開館</p>